



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp



2019年1月18日 vol.57

西武・イオン撤退で つくば駅前が空洞化

つくば駅前の西武・イオンが入っていたクレオビル。昨年1月に全館閉店し、駅前のにぎわいは減少してしまいました。

つくば駅は乗車人数が一日あたり1万8千人と市内の4駅の中で一番多く、バスターミナルもある交通の結節点。駅直近のにぎわいづくりは市の大きな課題です。

市が関与する クレオ再生案、断念

クレオビルを所有する筑波都市整備(株)が売却の方針を示したことを受け、市は具体的な関与手法を検討し、まちづくり会社を介しての再生案を作りました。

つくば・市民ネットワークは、市の案に賛同していましたが、議会内ではまちづくり会社の運営についての懸念や、民間参入の予定があるなら任すべきなど反対の意見が多く、市長は提案を断念しました。



つくば駅前のクレオ(左)とMOG、Q't(右)

クレオ再生案、議会の合意得られず断念... つくば駅前のにぎわいづくりを市民参加で!

地域応援ショップ・ 障害者チャレンジショップの実現を

断念した案の中には、市民から寄せられたニーズや提案が多く盛り込まれていました。中でも、周辺地域の特産品やお店等の魅力を紹介する地域応援ショップと、障害者の製品を販売し、障害者が働く場にもなるチャレンジショップは、ぜひ実現したい内容でした。これらはどうなるのでしょうか?

市長は「地域応援ショップとチャレンジショップは1つの核だった。行政の役割はそういう場を用意すること。中心市街地まちづくりビジョンの戦略の中に書き込んでいきたい」と答弁しました。

Q't、MOGが一足先に 民間事業者へ売却

クレオビルを取得する意向の民間事業者が、Q't、MOGと二体での取得を希望していることが報じられていましたが、昨年12月末に(株)日本エスコンがMOGとQ'tを取得したと発表されました。今後、クレオビルも売却され、イオン棟にはマンションが建設される見込みです。クレオビル、Q't、MOGが民間事業者に売却される事態となった今、市は駅前のにぎわいづくりについて民間事業者と連携していく必要があると考えます。

つくばセンタービルの あり方検討も進行中

つくば駅前のもう一つの顔であるつくばセンタービル。ノバホール、イノベーションプラザ、吾妻交流センター、市民活動センター、アイモールの一部と、多くの部分を市が所有しています。



市の施設も多く入るセンタービル

しかし、アイアイモールの飲食店がすべて閉店するなど、こちらも課題を抱えています。

このビルは、つくば市と筑波都市整備(株)、オークラホテルの三者が区分所有しているため、市は老朽化対策や利活用などを検討しており、今後関係者と協議調整を行っていくとのこと。

駅前のにぎわいづくりを 多くの市民と共に!

現在、市では中心市街地まちづくりビジョンの戦略を作成中です。つくば・市民ネットワークは、今回の経験を活かして、市民・行政・議会が共につくばのまちづくりに取り組めるよう働きかけていきます。行政だけに任せず、私たち市民もこの駅前のにぎわいづくりに参加しましょう。

県議選のご報告

12/9投開票の茨城県議会議員選挙で、つくば・市民ネットワークは、東海第二原発再稼働反対などの政策方針が一致し、市民発の政治を目指す立憲民主党公認の野口おさむ候補を推薦しました。結果は大変残念でしたが、71票差の次点。ご支援いただいた方々の思いをしっかりと受け止め、市民政治の実現をめざし、今後も活動を続けて参ります!

議員と話そう!会

定例会議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

2月13日(水) 10:00~12:00 つくば・市民ネットワーク事務所
2月17日(日) 10:00~12:00 ホテルマークワン 1F 小会議室
(つくば市研究学園5-13-5)

今、学校に必要なものは「電子黒板」でしょうか

つくば市教育局は文科省の方針を受け、「電子黒板」を普通教室に各一台整備するという要望を出しています。それには2020年度までに段階的に計500台の電子黒板(リース代年間4600万円)が必要とのこと。電子黒板は、見た目は大きな薄型TV。主にデジタル教科書を映し出すなどして黒板代わりに使うもので、電子黒板とデジタル教科書は切っても切れない関係です。

- 手を動かして実験や観察を行う時間の縮減につながらないこと。
- 虚構の映像を視聴させることのみで科学的事項の学習とすることが無いこと。
- 児童生徒どうしが直接的に考えや意見を交換しながら進める学習活動の縮減につながらないこと。
- 授業の「プレゼンテーション化」や、児童・生徒に対するプレゼンテーション偏重・文章力軽視意識の植え付けが起きないようにすること。

- 教員の教科指導能力が軽視されることがないように、また教員の教材研究がより充実するように配慮すること。

など挙げられています(『デジタル教科書』推進に際してのチェックリストの提案と要望)より)。

そして、つくば市教育委員からも「(電子黒板・デジタル教科書は)使い方を間違えると毒にもなり得る」と釘を刺されているのです。

学校現場では圧倒的な人手不足が続いており、あまりの過重労働に休職する教員が後を絶たず、なり手不足も深刻です。ハード面では備品が不足していたり、コピー一枚を節約している学校もあります。そんな状況でなぜ電子黒板が最優先されるのか、一般質問しました。

局長からは「より良い授業を行うために必要不可欠」との答弁でした。しかし、実際に学校現場で電子黒板を使った教材を見て、前述の注意点をクリアするのは、現状ではとても難しいと思いました。むしろ、本当に今お金をかけるべきは教員や支援員を増やしたり、教師が授業研究にかけられる時間を増やせるように校務支援システムを導入したり、性能の優れた印刷機などの備品を整備することではないでしょうか。電子黒板の増設よりも本当に必要なことに予算を使ってもらいたい、と要望しました。



つくば市議会議員
総務委員会副委員長

小森谷さやか

一般質問項目

・ICT教育の在り方

子ども達に「遊び」が足りない!



つくば市議会議員
市民経済委員会副委員長

皆川ゆきえ

一般質問項目

・自然をいかした子ども達の「遊び・体験」活動の推進

つくばには「ゴンタの丘」というプレイパークがあります。これまで、さくら運動公園内の一角にありましたが、市は専用の場所に新しく整備しようとして準備を始めています。プレイパークとは、禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことをモットーに、子ども達が創造力で工夫し遊びを創りだすことのできる遊び場のことです。

ついつい大人は、子どものちょっとした動きに「ダメ」「早く」と言って、動きを制止し、無意識に子ども達の「遊び」、つまり学びの機会を奪ってしまっていないでしょうか。

先日、「『ダメ』『早く』と言わない」「スマホ無し」というルールで、市内の乳幼児家庭教育学級で、つくばdeプレイパークひろめ隊が協力し、公園を散歩する企画を実施したところ、子ども達は、落ち葉や虫、穴、棒切れで非常によく遊びました。自然は様々な変化による刺激に富み、子どもの好奇心・意欲を掻き立てます。子どもは、においや、音、肌の感触、視覚からの刺激、五感をフルに動員し、自然や人と関わりながら遊びます。参加者からは、

「子どもとの関わり方を意識したら、自分も子どももとても楽しく過ごせた」「外に出るのは好きではないほうだけど、子どもが楽しそうなのを見て、もっと外に連れて行ってあげたいと思った」などの多くの反響がありました。

大人のちょっとした心がけで、子ども達はのびのびと遊び、そして学んでいきます。好奇心・意欲から端を発する「遊び」は、テストでは測れない力(非認知能力)、すなわちコミュニケーション能力、自己肯定感、粘り強くやり抜く力などを育みます。

かねてより子ども達に「3間(時間・空間・仲間)が無い」と言われ、さらに最近ではゲーム機やスマホ等の急速な普及、塾や習い事の加速で、子どもが遊べない、深刻な状況です。子ども達が、自分の責任で自由に遊ぶことを保証する場が、成長する過程には不可欠です。

12月議会の一般質問では、自然をいかした子どもの「遊び・体験」活動の推進について質問し、市も教育局も積極的に取り組んでいくことを確認しました。

身近な公園でプレイパーク!大人も子どもと一緒に遊びませんか。



請願：医療的ケアを在宅で不安なく続けるために!

今議会に「医療的ケア児等の家庭や関係先における発電機購入に対する助成に関する請願」が提出されました。「医療的ケア児等」というのは、在宅で医療的なケア(人工呼吸・酸素吸入・吸痰等)を必要とする子どもや大人の方々です。茨城県内には19歳以下の医療的ケア児数は約390名、うち49名がつくば市内という調査結果です。

在宅で医療的ケアをする場合、多くのケースで電動医療機器が必須です。昨年の台風24号襲来時には、つくば市内でも約10時間の停電がありました。電源確保に苦労した体験を基に、医療的ケアを必要とする子どもたちと家族の団体である「かけはしねっと」からこの請願が提出されました。



吸痰用電動吸引器

請願の内容は、医療的ケア児等の在宅家庭や障害福祉事業所などに発電機購入を支援する仕組みを整備するよう求めるものです。昨年4月1日の法改正では、地方公共団体は医療的ケア児に対し、その心身の状況に応じた適切な各関連分野の支援を受けられるよう、必要な措置を講ずるよう努めなければならないと定められています。審議の結果、全会一致で請願は採択されました。

この請願をきっかけに、医療的ケアを必要とする子どもたちへの対策が講じられてない点が浮き彫りになりました。つくば・市民ネットワークは引き続き、支援体制の整備実現へ向け取り組んでいきます。

※「つくば特別支援学校の過密状況を解消するために、つくば市内に特別支援学校の新設を求める請願」も全会一致で採択されました。



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

・クレオ再生問題から見えてきた中心市街地まちづくりの課題

なぜ、つくば駅直近エリアにマンション規制が必要か

クレオ、Q't、MOGが民間に売却され、イオン棟にはマンションが建つ予定。一方、公務員宿舎跡地の売却が今後も進むが（地図参照）、つくば駅周辺はすでにマンションが多数建設され、供給過剰と思われます。つくば駅直近街区においてこれ以上のマンション建設は規制すべきではないかと考え、質問しました。

中心市街地の健全なまちづくりのために、駅直近の街区にマンション建設を規制する考えは？

（部長）つくば駅の近接街区は商業や業務、公共公益機能を誘導する必要があり、住宅制限の検討を行っている。

中心市街地まちづくりヴィジョンの戦略はどのような内容で、いつまでに作るのか？

（市長）年度内を目途に目指すべき市街地像や具体的な取り組みの施策を決めていきたい。その中でゾーニングをしていき、住宅規制の考え方を盛り込む。つくば駅の近接街区は商業・業務・サービス・文化・行政等を誘導し、周辺部の公務員宿舎跡地は都市型の居住のエリアとしてゾーニングしていく。

戦略に書き込んだだけでは規制にならないが、具体的にはどうやって規制するのか？
実際には都市計画審議会の上程を得る等の措置が必要で、時間を要することになる。地権者の理解や協力を得ながら、都市計画決定に向け動いていくことが重要。

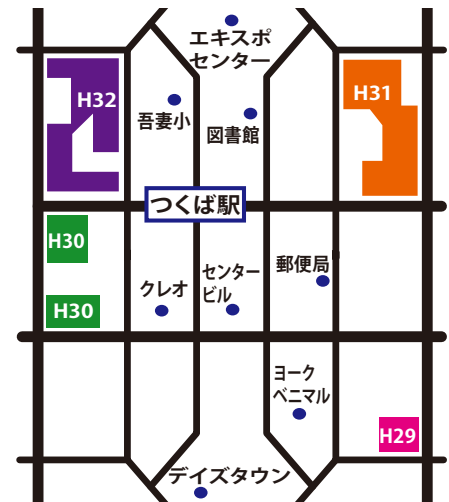
新たな地権者の協力は得られる見込みなのか？
これまで聞いている限りにおいて、Q't、MOG、西武棟はマンションにしないと聞いているので、当然協力していただけたらと思っている。駅近接街区にはほかに

も地権者が複数いるので、それらの事業者にも協議を開始していく。

万が一、地権者の合意が得られなかった場合には規制はかけられないのか？

都市計画法においては必ずしも合意は必須条件ではなく、地権者が合意しなくても規制は可能だが、地権者の協力を得て進める方が望ましい。

つくば駅前の数十年先の姿を見据え、必要な規制を実現するよう要望しました。



国家公務員宿舎売却スケジュール
（白抜き文字は売却年度）

公共施設、まずはデータの整理分析を！

市内の公共建築物約520棟は半数以上が築30年を超えています。上下水道や道路なども含め、更新等した場合に係る費用は、今後40年間で約8400億円という試算があります。一方、TX沿線では、新たな交流センターや保育所の新設を望む声は切実です。



今はかるうじて人口増のつくば市ですが、2035年以降は生産年齢人口が減少に転じるとの予測があり、税収の減少は必至です。そうなる前に、どう予算を配分すれば市民にとって最善かを見極める必要があります。今何をすべきか、公共施設の維持管理・マネジメントについて質問しました。答弁から

- 2017年に公共施設マネジメント推進室を設置した
- 「つくば市公共施設等総合管理計画」を策定した
- 施設のデータ整理を開始し「公共施設白書」「公共施設カルテ」を作成、毎年更新中
- 2018年～「点検マニュアル」による施設点検を開始した
- 2020年までに各課で個別施設計画を策定中

など進捗状況がわかりました。

先進自治体では人口減少も見据え、新築する公共建築物は多機能・複合化を進めています。'人口減少で統廃合する'のではなく、機能は維持しつつ、ハコモノ自体の管理費用を削減すべく'小さくまとめる'という考え方です。

また、倉敷市などでは既存の公共建築物について、数年かけ財務と建築・機械・土木などの専門家による体制づくりを行い、データの全庁的な管理を行っています。安全性や重要性などを点数化し、市民や職員も納得できる優先順位をつけ、公共施設の管理を進めています。各部署を超えて一括発注することで経費削減などの効果も得られたということです。

つくば市はどうでしょう？ データは蓄積にとどまり整理分析ができていない、各課内の優先順位はつけられても全庁的な優先順位をつけられる状況ではないとのこと。また、これまでの膨大なデータ収集も担当職員2名で行っており限界です。

無くてはならない公共施設。早急に、データを整理分析するよう、また推進するための体制づくりを要望しました。今後は、地域に何を残し、どう活用していくのかについて、市民も交えた協議の土台も作らねばならないと思います。皆さんのご意見をお待ちしています！



つくば市議会議員
議会運営委員会委員長
文教福祉委員

北口ひとみ

一般質問項目

・公共施設マネジメント

2018年12月議会議決結果

※請願については2ページを、下表の意見書についての詳細は4ページをご参照ください。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	つくば政清会	つくば市民政策研究会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	創生クラブ はがくれ	山中八策の会
つくばウェルネスパークの指定管理者の指定について	否決	○	×	×	×	○	○	×	×	×	
沖縄県名護市辺野古の米軍基地予定地における土砂投入を県民投票実施まで行わないことを求める意見書	否決	○	×	×	×	×	○	○	×	×	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長:塩田)		*宇野、北口皆川、小森谷	*小久保、久保谷ヘイズ、五頭神谷、黒田、長塚	*塚本、大久保木村修、木村清	*須藤柳沢高野進	*小野浜中山本	*滝口橋本山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田(議長)



主な活動報告

- 10/13、21、28、11/12、30、12/8、15、22
財政白書学習会参加
- 10/9、11、14 クレオに関する市民説明会参加
- 10/14 講演会「種子法廃止 その問題を探る(印鑰智哉氏)」
参加
- 10/18、11/4、8、24 原発県民投票を考える学習会参加
- 10/20 講演会「医療的ケアがあっても安心して暮らせる社会
を(内多勝康氏)」参加
- 10/20 東海第2原発運転延長STOP!首都圏大集会参加
- 10/22 講演会「檻の中のライオン(椋 大樹氏)」開催
- 10/22 森と自然の育ちと学び自治体ネットワークシンポジウム
参加
- 11/4、12/22 原発県民投票を考える会参加
- 11/10、11 環境フェスティバル2018出展
- 11/14、15、16 議員と話そう会開催
- 11/17 もうひとつの住まい方推進フォーラム2018参加
- 11/18 筑波地区学校跡地の利活用提案に関する意見交換会
参加
- 11/18 プレイパークフォーラム「外遊びのプロに聞く
～“遊び”こそ天才を育てる～(廣川和紀氏)参加
- 11/18 空き家活用シンポジウム参加
- 11/28～12/21 12月定例市議会
- 12/ 1 講演会「国政にうんざりしているあなたへ
～“市民とともに作る自治体”の知恵と実践」開催
- 12/25 街頭議会報告
- 1/13～14 自分ごと化会議in松江
～原発を自分ごと化する～ 視察

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会も多数傍聴しています。

見てみませんか? つくば市のおサイフ事情 財政白書学習会のお知らせ

市民目線で市の財政を解説した「市民がつくったつくば市の財政白書」が昨年発行されました。これを作成した「つくば市民による財政白書づくりの会」の方を講師に迎え学習会を開催します。一緒につくば市のお財布事情をみて、考えましょう!

日時: 2月25日(月)
10:00～12:00
会場: 市民ネット事務所
参加費: 無料

主催・お問い合わせ
029-859-0264 (市民ネット)

※財政白書(700円)取り扱っています。



【編集後記】

快晴続きのお正月に晴れ晴れとした話題が無いのが残念です。昨年末の県議会議員選挙の惜敗と言い、先の見えない東海第二原発のゆくえといい、辺野古問題といい……。

長々と続く安倍政権には一刻も早く退陣してもらい、ウソのない新たな政治を実現したいと心から思います。平和は本気で求める人のもとにしか来ないと平成最後の正月に強く思いました。今年もつくば市民ネットワークらしい活動を心掛けていきます。

講演会&視察報告

‘無作為抽出’の住民で会議?!

in松江

つくば市では各審議会等への市民公募やタウンミーティング等が増え、市民参加の機会も増えてきました。しかし、現在のような公募だけではなく、より市民全体の声を反映できる参加の方法はないかと考え、昨年12月、市民自治に取り組んできた福島浩彦さんの講演会を開催しました。

講演では、意見や関心がある市民だけが集まり議論するのではなく、無作為抽出で選ばれた市民が多様な意見のやり取り・討議をすることで、それまで関心がなかった地域の課題を‘自分のこと’として考えるようになり、市民参加を広げる一つの方法になっていると紹介がありました。

島根県松江市では、昨年11月から‘原発を自分ごと化する’というテーマで、市民団体が無作為抽出で選んだ市民による住民協議会議(全4回)を開始。賛否だけでなく、様々な角度から意見が出て討議が進行中とのこと。‘原発’というテーマで、しかも予備知識も特段意見も持たない市民が集まって、いったいどのように討議が進められているのか?「百聞は一見に如かず!」ということで、1月13・14日市民ネットの代理人と運営委員で、住民協議会「自分ごと化会議in松江」の傍聴に行ってきました。

傍聴した第3回会議では、2回までに出された論点をふまえ、「50年後の松江を見据え原発をどうするのか?」をテーマに、コーディネーターの進行で市民17人が3時間、熱い話し合いを繰り広げました。それを見守る傍聴者、なんと50人! 会議では「参加して、ニュースに注目するようになった」

「知らされてない情報はたくさんあると気付いた」など発言が。また、会議終了後の実行委員会では「3回目になり自発的発言が続いた」「自分ごと化’されていると実感!」などの感想がありました。

新年早々、刺激と学び満載の松江でした。



詳しくはこちら→

[自分ごと化会議in松江](#)

Q検索

傍聴記

議会の花といえば一般質問。最近では学校で地方自治を教える際に議会の録画を使われている先生もいらっしゃるかと👏 一般質問の内容については本紙中面に譲るとして、最終日の本会議も聞き応えのあることが多いのです。なぜなら、様々な議案、条例、市民からの請願、議会として提出する意見書の賛否についての議論が交わされるからです。

今回は辺野古の土砂入れを沖縄県の県民投票の結果が出るまで停止してほしい、という意見書が出されました。同様の意見書は大阪府堺市、東京都小金井市などで可決されています。しかし、残念ながらつくば市では否決されました。聞いていて気になったのは「他の自治体のことに口出しすべきでない」という論調です。

国の問題、しかも簡単に結論が出ないからこそ、単純な決めつけではなく、調べ、対話して解決を探っていくべき時に「沖縄県民」でなく「茨城県民」だから考えなくていいのでしょうか。例えば茨城でも「ひたち海浜公園」は1973年まで米軍射撃場でした。米軍基地は決して他人事ではありません。ここでも‘自分ごと化’の必要性を強く感じました。(E. A)



「沖縄県民投票実施まで辺野古の土砂投入止めて!」 意見書案、10対17で否決…

沖縄県では、辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例が直接請求され、県議会で可決し、2月24日の実施に向けて準備が進められています。

ところが防衛省が12月14日に基地予定地へ土砂の投入を開始。沖縄県知事はじめ、国内外、米軍関係者からも、県民投票前の土砂投入を止めるべき!との声が上がっています。



土砂が投入された辺野古の大浦湾

市民ネットでは、議会最終日に「土砂投入を県民投票実施まで行わないことを求める意見書案」を議員提案しました。県民投票で県民の意志を確認するという沖縄県議会の決定を、政府が強引な土砂投入という実力行使で無視したのは、地方自治の否定に他なりません。これを見ごせれば、その矛先がいつ、誰に降りかかってくるかわかりません。

残念ながら採決の結果は賛成10、反対17で否決されましたが、私達は、政府の横暴を黙認することなく、引き続き声を上げていきます! (※ 議決結果は3ページをご覧ください。)